

# 大館市 小・中学校施設の状況

H28工事完了時点

学 校 名		棟 数				備 考
		新耐震基準		旧耐震基準		
		耐震診断の必要なし (昭和57年以降建築)		補強済又は診断結果 で補強の必要なし	補強工 事 が 必 要	
小 学 校	桂 城	1		6		・平成22年度 4棟補強工事完了 ・平成24年度 1棟補強工事完了 ・平成27年度 1棟補強工事完了
	城 南	2		6		・平成23年度 5棟補強工事完了 ・平成25年度 1棟補強工事完了
	城 西	4				
	有 浦			4		・1棟補強の必要なし ・平成26年度 1棟補強工事完了 ・平成27年度 2棟補強工事完了
	釈迦内	5				
	長 木			3		・平成26年度 2棟補強工事完了 ・平成27年度 1棟補強工事完了
	川 口	2				
	上川沿	1	(5)			
	成 章	2				
	花 岡	2	(1)			
	矢 立	2				
	南			4		・1棟補強の必要なし ・平成27年度 3棟補強工事完了
	扇 田	2				
	西 館	3				
	東 館			2		・2棟補強の必要なし
	早 口			3		・平成25年度 2棟補強工事完了 ・平成28年度 1棟補強工事完了
山 瀬	2		2		・平成25年度 2棟補強工事完了	
	<b>小 計</b>	<b>28</b>	<b>(6)</b>	<b>30</b>	<b>0</b>	
中 学 校	第 一	2	(1)	6		・平成26年度 2棟補強工事完了 ・平成27年度 4棟補強工事完了
	北 陽	4				
	下川沿	2				
	南	1		3		・平成25年度 2棟補強工事完了 ・平成26年度 1棟補強工事完了
	成 章	1	(1)	1		・平成26年度 1棟補強工事完了
	東	1		8		・3棟補強の必要なし ・平成24年度 4棟補強工事完了 ・平成25年度 1棟補強工事完了
	比 内	1		9		・平成20年度 1棟補強工事完了 ・平成21年度 2棟補強工事完了 ・平成26年度 3棟補強工事完了 ・平成27年度 3棟補強工事完了
	田 代			8		・1棟補強の必要なし ・平成7年度 2棟補強工事完了 ・平成22年度 2棟補強工事完了 ・平成23年度 1棟補強工事完了 ・平成26年度 1棟補強工事完了 ・平成28年度 1棟補強工事完了
		<b>小 計</b>	<b>12</b>	<b>(2)</b>	<b>35</b>	<b>0</b>
<b>合 計</b>		<b>40</b>	<b>(8)</b>	<b>65</b>	<b>0</b>	

※ 新耐震基準欄の ( )内外数は、木造棟で面積 500m2以上のものである。

大館市 小・中学校施設の棟別耐震診断及び耐震補強状況一覧（非木造建築物）

（昭和56年以前に建築された旧耐震基準棟）

【小学校】

計 30棟

H28工事完了時点

学校名	No	棟番号		建物区分	構造区分	建築年	旧耐震設計基準 対応面積	耐震診断内容				耐震診断の結果補強工事の不要な棟の面積	補強工事実施状況		備考
		棟番	枝番					診断年度	診断方法	優先度ランク	Is値		補強年度	補強後Is値	
桂城	1	1	1	普通・特別教室棟	R	S46	1,084	H20	R二次	①	0.27		H22	0.75	
	2	1	3	管理・普通教室棟	R	S47	1,061	H20	R二次	①	0.27		H22	0.75	
	3	2		管理棟	R	S47	702	H20	R二次	③	0.33		H24	0.77	
	4	3	1	普通教室棟	R	S47	594	H20	R二次	③	0.27		H22	0.84	
	5	3	2	普通・特別教室棟	R	S48	1,697	H20	R二次	③	0.27		H22	0.84	
	6	4	1	屋内体育館	S	S49	897	H24	S屋体	③	0.56		H27	0.90	
城南	1	1	1	普通・特別教室棟	R	S43	1,125	H20	R二次	①	0.32		H23	0.72	
	2	1	2	管理・普通教室棟	R	S44	1,593	H20	R二次	①	0.32		H23	0.72	
	3	1	3	管理・普通教室棟	R	S44	1,845	H20	R二次	①	0.32		H23	0.72	
	4	1	4	普通・特別教室棟	R	S45	529	H20	R二次	①	0.32		H23	0.72	
	5	1	5	普通教室棟	R	S50	378	H20	R二次	①	0.32		H23	0.72	
	6	2		屋内体育館	S	S45	870	H23	S屋体	③	0.10 (※0.35)		H25	0.74	
有浦	1	1		管理・普通教室棟	R	S52	2,309	H23	R二次	③	0.42		H27	0.72	
	2	2		管理・特別教室棟	R	S53	1,206	H23	R二次	④	0.32		H27	0.71	
	3	3		普通・特別教室棟	R	S53	2,017	H23	R二次	④	0.74	2,017			
	4	5	1	屋内体育館	S	S53	960	H24	S屋体	③	0.26		H26	0.78	
長木	1	1		普通教室棟	R	S55	1,312	H24	R二次	④	0.53		H26	0.76	
	2	2		特別教室棟	R	S55	1,881	H24	R二次	③	0.37		H27	0.72	
	3	3		屋内体育館	S	S56	813	H24	S屋体	④	0.46		H26	0.75	
南	1	1	1	管理・特別教室棟	R	S50	1,006	H24	R二次	⑤	0.63		H27	0.74	
	2	1	2	普通・特別教室棟	R	S51	2,060	H24	R二次	⑤	0.63		H27	0.74	
	3	2		特別教室棟	R	S51	889	H24	R二次	④	0.87	889			
	4	3		屋内体育館	S	S51	797	H24	S屋体	④	0.47		H27	0.94	
早口	1	1	1	普通・特別教室棟	R	S53	1,701	H23	R二次	③	0.48		H25	0.74	1-3 : 135㎡含む
	2	1	2	管理・特別・普通教室棟	R	S54	1,294	H23	R二次	③	0.48		H25	0.74	
	3	2		屋内体育館	S	S54	906	H24	S屋体	③	0.40		H28	0.71	
東館	1	1		管理・特別・普通教室棟	R	S54	2,252	H16	R二次		0.95	2,252			
	2	2		屋内体育館	S	S54	708	H16	S屋体		0.68		H17	0.79	
山瀬	1	1		普通・特別教室棟	R	S37	1,013	H23	R二次	③	0.49		H25	0.95	
	2	2		管理・特別教室棟	R	S38	1,013	H23	R二次	③	0.48		H25	0.83	

大館市 小・中学校施設の棟別耐震診断及び耐震補強状況一覧（非木造建築物）

（昭和56年以前に建築された旧耐震基準棟）

【中学校】

計 35棟

H28工事完了時点

学校名	No	棟番号		建物区分	構造区分	建築年	旧耐震設計基準 対応面積	耐震診断内容				耐震診断の結果補強工事の不要な棟の面積	補強工事実施状況		備考
		棟番	枝番					診断年度	診断方法	優先度ランク	Is値		補強年度	補強後Is値	
第一	1	1	1	普通教室棟	R	S53	2,439	H24	R二次	④	0.29		H26	0.71	
	2	1	2	普通教室棟	R	S54	1,665	H24	R二次	④	0.29		H26	0.71	
	3	2		管理棟	R	S54	1,853	H24	R二次	④	0.55		H27	0.77	
	4	3		管理棟	R	S54	2,963	H24	R二次	⑤	0.54		H27	0.71	
	5	4		第一屋内体育館	S	S54	1,366	H24	S屋体	④	0.33		H27	0.71	
	6	5		渡り廊下	S	S54	42	H24	S屋体	③	0.33		H27	0.71	
南	1	1	1	管理・普通教室棟	R	S41	1,060	H18	R二次	①	0.40		H25	0.72	
	2	1	2	普通教室棟	R	S41	1,764	H18	R二次	①	0.40		H25	0.72	
	3	3		屋内体育館	S	S42	716	H24	S屋体	④	0.33		H26	0.92	
成章	1	1		管理・特別・普通教室棟	R	S54	2,592	H24	R二次	④	0.39		H26	0.70	
東	1	1	1	特別教室棟	R	S46	1,411	H22	R二次	②	0.24		H24	0.71	
	2	1	2	管理・特別教室棟	R	S47	2,784	H22	R二次	②	0.24		H24	0.71	
	3	1	4	管理・特別教室棟	R	S47	227	H22	R二次	②	0.24		H24	0.71	
	4	1	5	特別教室棟	R	S47	173	H22	R二次	②	0.24		H24	0.71	
	5	2	1	管理・特別教室棟	R	S47	374	H22	R二次	④	1.04	374			
	6	2	2	特別教室棟	R	S47	281	H22	R二次	④	1.04	281			
	7	2	3	屋内体育館	S	S47	1,094	H22	S屋体	③	0.22		H25	0.77	
	8	2	4	屋内体育館	R	S48	438	H22	R二次	④	1.04	438			
比内	1	1	1	普通教室棟	R	S46	1,576	H19	R二次	①	0.55		H27	0.79	
	2	1	2	普通教室棟	R	S46	572	H19	R二次	①	0.55		H27	0.79	
	3	2		特別教室棟	R	S47	2,164	H19	R二次	①	0.10		H21	0.73	
	4	3	1	普通・特別教室棟	R	S48	1,330	H19	R二次	③	0.26		H20	0.76	
	5	3	2	管理・特別教室棟	R	S48	276	H19	R二次	③	0.26		H20	0.76	
	6	4		便所	R	S48	225	H19	R二次	③	0.53		H27	0.73	
	7	5	2	渡り廊下	S	S48	249	H19	S	④	0.47		H26	0.82	
	8	5	1	屋内体育館	S	S48	885	H24	S屋体	④	0.37		H26	0.71	
	9	5	3	屋内体育館（講堂）	S	S48	478	H24	S屋体	④	0.32		H26	0.73	
田代	1	1		普通教室棟	R	S44	1,511	H19	R二次	①	0.17		H22	0.73	
	2	2		特別教室棟	R	S44	529	H19	R二次	①	0.17		H22	0.73	
	3	3		便所	R	S44	516	H19	R二次	②	0.48		H28	0.72	
	4	4		普通教室棟	R	S44	1,191	H19	R二次	②	0.37		H23	0.79	
	5	5		管理棟	R	S44	405	H19	R二次	④	1.02	405			
	6	6	1	特別教室棟	R	S45	904	H7	R二次	④	0.41		H7	0.91	
	7	6	2	屋内体育館（講堂）	S	S45	697	H7	S屋体	④	0.32		H7	0.93	
	8	7	4	屋内体育館	S	S45	963	H24	S屋体	④	0.21		H26	0.84	

## 大館市小・中学校施設の耐震診断率及び耐震化率（H28工事完了時点）

### 【非木造建築物】

学校区分		全棟数 (A)	耐震性有 (B) 昭和57年 以降建築	耐震性無 (C) 昭和56年 以前建築	(C)の内 改修済又は 改修不要 (D)	耐震性無 (E) 今後補強工事 が必要な棟数 【C-D】	耐震診断 実施棟(F) 優先度調査 を除く	耐震診断 率 (G) % 【F/C】	耐震化率 (H) % ※1 【D/C】	耐震化率 (I) % ※2 【(B+D)/A】
小学校	校舎	42	19	23	23	0	23	100.0	100.0	100.0
	屋内体育館	16	9	7	7	0	7	100.0	100.0	100.0
	小計	58	28	30	30	0	30	100.0	100.0	100.0
中学校	校舎	36	10	26	26	0	26	100.0	100.0	100.0
	屋内体育館	11	2	9	9	0	9	100.0	100.0	100.0
	小計	47	12	35	35	0	35	100.0	100.0	100.0
合計		105	40	65	65	0	65	100.0	100.0	100.0

※1 昭和56年以前の建物の耐震化率

※2 昭和57年以降の棟数も含む全棟数に対する耐震化率

※3 木造棟は全て昭和57年以降に建築された新耐震基準棟なので、上記表には含まない。

## 【用語の説明】

- 【耐震基準】 一定の強さの地震が起きても損壊または倒壊しない建物が建築されるように、建築基準法で定められている構造基準のこと。
- 【新耐震基準】 昭和56年6月に建築基準法の耐震基準が改正され、これ以降の基準を新耐震規準といいます。この基準で建てられた建物は、震度6強程度の地震でも倒壊しない耐震性能が確保されています。
- 【旧耐震基準】 昭和56年6月の耐震基準改正以前の基準を旧耐震基準といいます。この基準で建てられた建物は、耐震性能が確保されていない可能性が高いとされています。
- 【棟番号】 同じ校舎でも複数の棟に分かれている場合があり、その棟毎に付された番号。
- 【構造区分】 R:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造
- 【耐震診断】
- 優先度調査: 学校施設の建築年、構造形式、コンクリート強度、耐震壁の状況などから、耐震診断実施の優先順位を判断するための調査のこと。
  - 一次診断: (R一次) 建物が地震に対してどの程度耐え得る力を有しているかについて柱や壁の量から耐震性能を評価する簡易な診断方法です。
  - 二次診断: (R二次) 柱・壁・コンクリート強度・鉄筋量から建物の強さ、地震力を受け流せる能力を推定する診断方法。耐震補強内容を検討し、設計を行うための詳細な診断方法です。
- 【優先度ランク】 数字が低いほど危険とみなされ、ランク①、②が「二次診断」を行えば、Is値0.3未満となることが推定され、優先的に耐震診断を実施すべき建物とされています。
- 【Is値（構造耐震指標）】 「二次診断」の結果、建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出される耐震性能を数値化したもの。値が大きいほど耐震性能が高いことを示しています。文部科学省では、学校施設において『補強後のIs値が0.7を超えること』としています。

Is値 0.3未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する <b>危険性が高い</b> 。
Is値 0.3以上0.6未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する <b>危険性がある</b> 。
Is値 0.6以上	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する <b>危険性が低い</b> 。

- 【大規模な地震】 震度6強から震度7程度の地震を想定しています。
- 【改修後 Is値】 補強工事を行うことにより、向上したIs値を標記しています。